

10・28

沖縄意見広告運動 (第6期)東京集会

辺野古新基地ノ！

現地行動報告と沖縄県知事選勝利へ



写真は9・20辺野古集会に集まった5500人の怒りのこぶし(詳細は裏面)

「命の海」・辺野古に基地はいらない! 埋め立てやめろ! オナガ沖縄県知事候補の勝利で平和な沖縄を!

今、沖縄・辺野古現地では、安倍政権が再び「銃剣とブルドーザー」よろしく、本土から海上保安庁の巡視船・警備艇まで繰り出して、新基地建設のためのボーリング調査を強行し、連日、名護市住民・県民、内外から駆け付けた支援の人々が、ゲート前・海上でこれを阻止する抵抗と抗議を続けています。この安倍政権の沖縄・名護辺野古の「命の海」を埋め立て・新基地建設を許すのか、これを阻止するのかを巡る歴史的な大激戦となる沖縄県知事選戦が、30日告示、11月16日投票日を迎えます。保守・革新を超えた新基地ノーの「オール沖縄」の民意を代表して前那覇市長のオナガ雄志候補が「建白書」の実現を訴え、安倍政権に屈して新基地推進に進む仲井真現知事との全面対決、県政の転換に挑戦します。

安倍政権の新基地建設と集団的自衛権行使・平和憲法破壊は一体です。その目的は日米安保下でアメリカとともに戦争するためです。その意味で沖縄知事選は、基地のない平和で豊かな沖縄の、そして日本の未来のかかった闘いであり、安倍政権の戦争への暴走を止める闘いです。是非、辺野古現地の闘いを映像と報告で知り、オナガ候補勝利のために何ができるか、共に語りあいましょう!

10月28日(火)午後6時～

日本教育会館 一ツ橋ホール

8階第3会議室

〒101-0003
東京都千代田区一ツ橋2-6-2
TEL:03-3230-2831

プログラム

- ★映像で観る辺野古現地の戦い(ビデオ放映)
- ★辺野古現地よりの報告
- ★報告:花輪伸一(全国世話人) ほか
- ★お話:「沖縄県知事選と住民自治」
上原公子(元国立市長)

資料代500円

■東京メトロ半蔵門線・都営新宿線・都営三田線
神保町駅(出口A1)徒歩5分



●主催:第6期沖縄意見広告運動

連絡先:〒164-0001 東京都中野区中野2-23-1 ニューグリーンビル301 協同センター・東京気付

Tel:03(6382)6537 Fax:03(6382)6538

mail: info@okinawaiken.org web: http://okinawaiken.org

第一期よりの意見広告

2010年 朝琉・沖

2011年 N 2012年 W ウェブ版

2013年 毎東・琉・沖

2014年 毎東・琉・沖

註朝||朝日新聞 琉||琉球新報 沖||沖縄タイムス 毎||毎日新聞 東||東京新聞 N||ニューヨークタイムス W||ワシントンポスト



5500人が辺野古の浜を埋め尽くし「政府の横暴許すな。」の怒りの拳

9月20日、日米両政府が新基地建設のために埋め立てようとしている「命の海」を見渡し、米軍キャンプ・シュワブに隣接する辺野古の浜で、「みんなで行こう辺野古へ。止めよう新基地建設!9・20 県民大会」が開かれた。キャンプ・シュワブゲート前で開かれた8月23日に続き2度目で前回の2300人を上る約5500人が県内外から結集し、沖縄の民意を無視し、海上作業を強行する安倍政府に怒りの拳を突き上げた。

残暑の炎天下、沖縄の各地からバス70台、マイカーに分乗して、杖をついたお年寄りから幼い子供を連れた家族連れまでが会場へ長蛇の列をなし、みるみる浜を埋め尽くし、「新基地止めよう」と声を挙げた。

政府の沖縄への構造的差別を打ち破る闘いに昇華 沖縄の自己決定権を勝ち取るためにも勝利を (安次富浩ヘリ基地反対協共同代表)

集会には、野党議員や名護市長、那覇市長、市民団体代表、学生代表らが登壇した。「ミスターゲート前」と紹介され、連日連夜米軍キャンプ・シュワブゲート前で行動の先頭に立つ山城博治沖縄平和運動センター議長は、「この闘いは大きな力を持って広がっている」と述べ、その日に通行中の車から投げられた「支援カンパ」の例など県内外からの支援に感謝を述べた。また「ミスターテント村」と紹介され、「辺野古移設」が浮上して18年間、辺野古阻止の先頭に立ったきた安次富浩ヘリ基地反対協共同代表は、予想以上の結集に「この反対運動は完全に勝利できると断言できる」と述べ、スコットランド問題に触れて「辺野古の闘いは政府の沖縄への構造的差別を打ち破る闘いに昇華した。沖縄の自己決定権を勝ちとるためにも勝利しなければならぬ」と訴えた。

稲嶺名護市長「自信と誇りを持って阻止」 翁長雄志那覇市長(県知事候補) 「心ひとつにオール沖縄で絶対阻止」

県内外から届いたジュゴン保護のメッセージを張り付けた大きな布をマントのように羽織って登壇した稲嶺進名護市長は、「ウチナンチュは日本政府から差別を受けているが孤立していない、自信と誇りを持って辺野古を止めアイデンティティを示して行こう」と参加者を鼓舞した。そして「知事選出馬を表明した翁長那覇市長を当選させて、日米両政府にオール沖縄で反対していることを見せつけよう」と呼びかけ、会場から「そうだ!」「屈しないぞ!」など声が挙った。

集会に参加した県内市町村長を代表して登壇したオナガ雄志那覇市長(県知事選に出馬表明。現在、市長職を辞任)は、「この美しい海を埋め立てさせてはいけぬ。絶対に阻止しよう」と決意を固めている。そして、「建白書」の普天間の県外国外への移設、県内移設反対、オスプレイ配備撤回を挙げて「県民の心をついに、スクラム組んで実現させよう」と訴え、会場から挙がる大きな拍手が辺野古の海に広がった。

その後も、登壇者が口々に県知事選出馬を表明している翁長氏の支持を訴え、まるで県知事選への大衆的決起集会となった。まさに集会は、辺野古反対のうねりが沖縄の歴史の新しい1ページを開けることにもなる県知事選に向かって高まっていることを示すものとなった。

「辺野古、絶対に阻止」のオナガ雄志候補の勝利のため、力を合わせよう!



オナガ雄志さん (那覇市長)



稲嶺進さん (名護市長)



山城博治さん (沖縄平和運動センター議長)



安次富浩さん (ヘリ基地反対協共同代表)

第6期沖縄意見広告運動

全国世話人(五十音順、★印は代表世話人)

- 安次富 浩 名護・ヘリ基地反対協議会共同代表
- 伊波 洋一 元宜野湾市長
- 上原 成信 沖縄・一坪反戦地主
- 上原 公子 元国立市長
- 大野 和興 脱WTO/FTA草の根キャンペーン事務局長、日刊ベリタ代表
- 大湾 宗則 京都沖縄県人会
- 尾形 憲 法政大学名誉教授
- 高里 鈴代 基地・軍隊を許さない行動する女たちの会 共同代表
- ★武 建一 連帯労組生コン支部委員長、中小企業組合総合研究所代表
- 照屋 寛徳 衆議院議員
- 野平 晋作 ピースボート共同代表
- 服部 良一 前衆議院議員
- 花輪 伸一 JUCON(沖縄のための日米市民ネットワーク)
- 藤原 好雄 憲法を生かす会・奈良代表委員
- 本山 美彦 京都大学名誉教授、「変革のアソシエ」共同代表
- ★山内 徳信 前参議院議員
- 山城 博治 沖縄平和運動センター議長
- 生田 あい 本部事務局

第6期の賛同募集の振込表のついたチラシは10・28集会にて配布します。



意見広告運動の缶バッジを作りました。一個200円です。事務局で扱っています。送料は、40個までは80円、41個以上は無料です。

缶バッジ

●主催:第6期沖縄意見広告運動

連絡先:〒164-0001 東京都中野区中野2-23-1 ニューグリーンビル301 協同センター・東京気付

Tel:03(6382)6537 Fax:03(6382)6538

振替口座 加入者名:「意見広告」

口座番号:00920-3-281870

■メールアドレス info@okinawaiken.org
■ホームページ http://okinawaiken.org